

事業番号	事務事業名	自動車急発進抑制装置設置補助金	所管課名	くらし安全課	令和 2 年度課長名	小原 克則
00455	政策名	4 快適な生活環境の里づくり	係名	生活安全係	担当者・シート作成者	長石 和太
	施策名	42 交通安全・生活安全対策の推進	根拠法令等	鏡野町自動車急発進等抑制装置整備費補助金事業		

1. 事務事業の概要

①事業期間	②今年度の事業内容(具体的な内容、事務概要等を簡潔に記載する)	③開始したきっかけ(いつ頃、どんな経緯で)
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度) <input type="checkbox"/> 単年度のみ	(事務事業の内容) 町内の高齢者(65歳以上)に対し、自らが所有する自動車に後付けでアクセルとブレーキの踏み間違いを防止する装置を設置する費用について補助金を交付する。 (業務の内容) 申請者より後付けブレーキの設置についての補助金交付申請を受理し、補助金を交付する。(機器購入の3分の2、上限100,000円)	高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が多発し、国においても後付けブレーキの補助事業が開始されたことから、鏡野町独自の補助事業を行った。

2. 事務事業の対象・意図・活動・成果指標

①対象(誰、何を対象にしているのか)	④対象指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 補助対象者	ア 65歳以上の町民	人	見込 実績			4,694 4,757	4,788	4,720
イ	イ		見込 実績					
ウ	ウ		見込 実績					

②意図(対象をどのような状態にしたいのか)	⑤成果指標(意図の達成度)	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 後付けブレーキを設置することにより、事故件数を減少させる	ア 町内の事故件数	件	目標 実績 達成率			20 7 285.7%	15	14 200.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

③主な活動内容	⑥活動指標	単位	区分	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
ア 補助金交付	ア 補助件数	件	目標 実績 達成率			20 19 95.0%	20	20 95.0%
イ	イ		目標 実績 達成率					
ウ	ウ		目標 実績 達成率					

3. 事務事業の予算・コスト概要

予算科目	会計 01		款 02		項 01		目 08		大事業 中事業					事業番号
	一般会計		総務費		総務管理費		交通安全対策費		06 01 自動車急発進抑制装置設置補助金					
予算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	決算(千円)	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度見込	4年度見込	前年比	
国庫支出金							国庫支出金							
県支出金							県支出金							
町債							町債							
その他特財							その他特財							
一般財源			2,000	1,000	1,000	2,000	一般財源			1,107	1,000	1,000	1,107	
合計			2,000	1,000	1,000	2,000	合計(A)			1,107	1,000	1,000	1,107	
財源名称	従事正職員人数									1	1	1	1	
	延べ業務事務時間									50	50	50	50	
	人件費計(千円)(B)									167	168	168	167	
	最終予算額		2,000 千円		予算執行率		55.3%		トータルコスト(A+B)			1,274	1,168	1,168
主な支出事業内容(予算)	補助金						2,000 千円							
	主な支出事業内容(決算)						補助金						1,107 千円	

事業番号	00455	事務事業名	自動車急発進抑制装置設置補助金	所管課名	くらし安全課
------	-------	-------	-----------------	------	--------

4. 事務事業の環境変化・住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 高齢者による事故が多発し、踏む間違い等のアクセルとブレーキの操作ミスによる事故が大きく取り沙汰されており、各自動車メーカーから踏み間違い防止装置が発売され、国の補助事業も継続されている。
② この事務事業に関するこれまでの改革・改善の取り組み経緯 警察などと連携し、補助事業の創設に取り組んだ。
③ この事務事業に対して、関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が、どの程度寄せられているか? 設置者からは、安心が得られたなどの事業に対して好評であるが、設置事業者からは国の補助との関わりに関する相談が多数あった。

5. 事業評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性(この事務事業の目的は町の政策体系に結びついているか? 意図することが結果に結びついているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	理由 説明	交通事故の抑止となり、高齢者の交通安全意識の啓発になることから政策体系と結びついている。
	② 町が関与する妥当性(この事業は町が行わなければならないものか? 税金を投入して行うべき事業か? 住民や地域民間等に任せることはできないか?)		
有効性 評価	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	理由 説明	高齢者の安全安心及び交通事故防止のため妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性(事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す余地がないか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である	理由 説明	操作ミスが比較的多い高齢者が対象であるため適切である。
効率性 評価	④ 成果の向上余地(成果向上の余地はないか? 成果を向上させる有効な手段はないか? 何が原因で成果が向上しないのか?)		
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 目標水準に達している	理由 説明	所有する自動車に後付けすることから、現在流通している装置以外の装置等が流通するまでは現状以外の成果の向上は難しい。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響(事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無は? 目的を達成するには、この事務事業以外に方法はないか?)		
公平性 評価	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある	理由 説明	上限以上に申請があるため、廃止する影響は大きい。
	⑥ 方法・手段の改善余地(やり方等を改善して成果をより向上させることはできないか?)		
	<input type="checkbox"/> 改善余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善余地がない	理由 説明	補助の交付事務なので改善の余地はない。
公平性 評価	⑦ 事業費の削減余地(成果を下げずに仕様や工法の見直し、住民の協力などで事業費を削減できないか?)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	今後、設置装置の選定をより細かく行うことで補助費用の削減は見込める。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地(成果を下げずにやり方の見直しや民間委託などでコスト削減できないか?)		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 説明	必要最低限の人員で事務をしており削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地(事業内容が「対象」の全体でなく、一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担は公平・公正となっているか?)		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 説明	一定の補助率と上限額を設定しており、公平である。

6. 事業評価の総括と今後の方向性

① 上記の評価結果		② 全体総括(振り返り・成果・反省点)・評価結果の根拠																							
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり	装置を設置することで高齢者の運転者及びその家族に対しても安心が得られている。申請に関してそのほかの補助事業と同様の手順となるが、申請する際に高齢者からの不満が一部であった。																							
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり																								
③ 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		④ 担当課としての事業の方針																							
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了		今後の改革改善案 装置設置後の感想等を蓄積し、補助申請者へ助言ができるようにすることが必要である。																							
⑤ 改革改善案を実施する上で解決すべき課題		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○			低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○																						
	低下																								
装置設置後の感想等を集めるにあたり、申請者へ協力依頼をすることが必要。		(廃止・休止・事業完了の場合は記入不要)																							